

[COMMUNION]

WEB:<http://www.nskk.org/tokyo/index.html>
 E-mail:comm.tko@nskk.org
 PHONE:03-3433-0987
 FAX:03-3433-8678
 Diocese Office



中高生世代キャンプ特別号

第32号 (通巻1267号)

2016年9月19日

編集:広報委員会

委員長:渡辺康弘

日本聖公会東京教区

港区芝公園3-6-18

8月18日から8月21日の日程で東京教区中高生世代キャンプが行われました。

中高生世代参加者12名、スタッフ8名、引率として山口恵奈さん、中高生世代キャンプ担当として太田信三執事、チャプレンとして中川英樹司祭、総勢23名が群馬県みなかみ町の日本バイブルホームに集い共に過ごしました。今年のキャンプテーマは変化を意味した change とつながりを意味した chain が組み合わさった CHANGE。

共に考える「分かち合い」や「みことば」、思いっきり体を動かす「リフレッシュ」、自分たちの力で作り上げる「聖餐式」など様々なプログラムを通してテーマの意味を感じることができた4日間だったのではないのでしょうか。

CHANGE を軸に行われたキャンプはキャンパーの元気な姿、歌声に溢れたキャンプになりました。



2016 中高生世代キャンプ特集

テーマ
CHANGE

私たちは様々なつながりに囲まれ生活しています。このキャンプは普段属しているコミュニティとは違った日常では出会えない仲間とつながれる機会です。

4日間共に生活する仲間たちの間につながりが生まれ、それがずっと続いていくようなキャンプにしたい。そんな思いから chain (つながり) という言葉をテーマに盛り込みました。

そして change。過去のキャンパーの「中高生世代キャンプは自分にとってギアチェンジすることのできる機会だ」という感想をもとに今年も『変わること』『変わらないこと』について深めたいと考えました。

つながる chain と変わる change を合わせて CHANGE。中高生世代キャンプ以外のどこを探しても出会うことのないこの言葉と向き合った4日間は2つの言葉の関係の深さが想像以上であることと、キャンプ参加者の間に強いつながりが生まれたことを感じた日々でした。

1日目

緊張した面持ちで集合したキャンパー達は1日目前半に行われたバスプログラムやアイスブレイキングなどのレクリエー



ションに参加するうちに互いに打ち解けあつていく様子が見られました。

バイブルホームに到着して開会式、アイスブレイキングを行った後はものづくりプログラムとして「ティーシャツ作り」をしました。それぞれが持ち寄った白い



ティーシャツの表面に思い思いの絵を指で描いていきました。絵のテーマは夏。個性が溢れるカラフルなティーシャツが出来上がりました。ティーシャツの裏面には今年度テーマを表したロゴと

り返ること。自分の身の回りにある「絶対に必要なもの」「必要のないもの」を話し合うことで自分について改めて考えました。

2日目

2日目最初のプログラムは「みことば」。マタイによる福音書9章9節から13節を取り上げて、マタイにとってイエスさまに食事に誘われるとはどのようなことだったのか考えました。各々意見や着目点が違うということが印象的でした。



夕食を頂いたあとは外で行う「リフレッシュ」。体を動かし気分をリフレッシュさせることができるように、ビーチフラッグ、ドッチボール、尻尾取りゲーム、スイカ割り、水鉄砲をチーム対抗戦で行いました。チームメイトと協力し夢中で走り回る元気な姿を見ることができました。

2日目最後はお待ちかねの「肝試し」。チャプレンによる怖い話を聞いた後に暗いバイブルホームを歩くと想像力が広がりさらに怖い肝試しになったようです。

3日目

3日目は「わかちあい2」から始まりました。数人のグループに分かれこのキャンプを過ごしてきてchangeやchainについてどのように感じたか、自分にとってCHANGEとはどういうことなのかそれぞれ考え話し合いました。話し合った内容はまとめて、お話という形にしました。長い時間でしたが集中して話し合う姿が印象的でした。

午後は「聖餐式準備」です。4日目の午前中に行う「聖餐式」の準備をしました。奏楽、代祷、オルターギルド、アコライト、に分かれてそれぞれの準備を進めていきました。パ、ぶどう酒作り、蠟燭作り、奏楽の練習など限られた時間の中で一生懸命取り組むことができました。



3日目最後は「キャンプファイアー」です。大きな火を囲み、今まで歌ってきたキャンプソングや楽しいレクリエーションを行い楽しめました。消えていく炭火の輝きを皆で囲み眺めながら、静かな時間を過ごしました。

4日目



4日間過ごしたバイブルホームに感謝の気持ちを伝えるために、朝は掃除をしました。使ったところを綺麗にして気持ちよく帰ることができました。

キャンプの思い出を形に残しながらを確認するという目的で「メモリアルブック」を作りました。一人一人にメッセージを書き4日間の思い出を交換し合いました。

最後のプログラムは「聖餐式」です。3日目から別々に準備してきたことが一つに合わさり、自分たちで作る聖餐式を神様に捧げることができました。

また3日目に作った紙芝居を聖餐式中に発表し、2016年度中高生世代キャンプにしかない聖餐式になりました。



帰りのバスでは、キャンパー達の元気な歌声と笑い声が溢れ、キャンパー達にとって最後まで楽しいキャンプになったようです。

「キャンパーの感想」

北久保 光宣



今回のキャンプテーマCHANGE。僕は実際にながりと変化をキャンプ

中に多く感じる事ができました。このキャンプで僕が感じたつながりは、新しいつながりと太いつながりです。新しく会えた仲間と共に生活することでお互いに信頼することができて新しいつながりが増えたと感じました。また、去年一緒だった仲間とは長い間会わなかったのにもかかわらず、はじめから信頼しあうことができてつながりの太さを感じることができました。

そしてこのキャンプを通して感じたことは去年と比べて自分の周りが見られるようになったことです。そのときに自分には何が自分できると感じるようになったのか、どのよう行動をとればいいのか、自分が理解できるようにになりました。これはキャンプで得られた変化でないですが去年と変わらない立場でキャンプに参加したからこそ感じられた変化でした。

他にもこのキャンプで感じたことはたくさんあるけれどこれだけは確信を持って言えます。



本幡 明子
中高生キャンプに行ったら一番良かったことは、たくさん友達ができたことです。

初日の朝。みんなが昨日もあつたような感じでおはようと言ってくれてとても嬉しかったです。そして、キャンプで一緒にご飯を食べたり寝たり分かち合いで自分の気持ちを話したりしていくうちとても大切な仲間になっていきました。一番の思い出はキャンプファイヤーです。みんなで勝手に歌い出したり、ゲームで騒いんだり3日間過ごしてきたからこそその楽しみがそこにはありました。みんながもつたとくさんやりたかったと言っていた分、かち合いです。このキャンプでしか深く考えない自分の本心に気づくことができました。帰りにえいしろうが作った歌をみんなが歌ったこと、毎食ご飯の歌を歌ったこと、たくさんさんの思い出が歌に詰まっているから、キャンプから帰った今でも歌を口ずさんでいます。またみんなと会えるのをすごく楽しみにしています。

小嶋 元



僕たちはこの夏休みに、中高生世代キャンプに参加しました。このキャンプのテーマは「CHANGE」でした。この言葉は、鎖を意味するchainと、変わるという意味であるchangeをつなげた言葉です。

僕はこのキャンプに参加するのは今年で3回目でしたが、初めて会った人や久しぶりに会った人と話すのは苦手としているので、アンデレ教会に集合した時は借

りてきた猫のような感じでした。しかし、去年からの友達も今年初めて会った人も、そんな僕にたくさん話しかけてくれて、「また来た」というより、「帰ってきた」に近い感情を覚えました。そして最後の夜や帰りのバスでは、「帰りたいくない」とずっと思っていました。初日の緊張していた自分から変わり、もともとあつた絆をさらに強め、新しい絆をつなぐ、とてもCHANGEなキャンプでした。テーマに沿った楽しいキャンプでした。来年も絶対行きます。最後に、4日間一緒に過ごしたキャンパー、スタッフ、関わっていた全ての方、ありがとうございました。

卓 由真



この中高生世代キャンプのおかげで夏が楽しくなり、1番の思い出になりました。

私は、このキャンプに最初から行くこととしたのではなく父親や教会の方々から「楽しいよ」と進められて行くことにしました。キャンプ当日、バスの中でものすごく緊張して固まっていたところをキャンパーの皆が暖かく接してくれてすごく安心しました。キャンプではいろんなプログラムをしました。一つ一つが楽しくまた皆とももつと親しくなれて楽しかったです。私が一番感動したのはキャンパーの皆の接しかたでした。初対面なのに友達だったかのように接してくれてすごく嬉しかったです。

まず、皆さんがすごくフレンドリーなことです。これは一番驚きました。知らない人ばかりのキャンプはスタッフだけ明るくて、参加者同士では全く話さない人がいますが、このキャンプは違いました。内気な僕でも皆と話すことができます。明るくて眩しいくらいです。そして他にも、高校生ばかりだったこと、スタッフだと思っていた人がキャンパーだったこと、歌への意欲が凄いこと、肝試しがあったことなどたくさんあります。テーマでも驚きがありました。「CHANGE」は僕にぴったりです。僕にとってチェンジはいろんな人と話せるように変わること、チェンは色々な人とつながることです。何とも似たこの二語は僕のためにあるようなものでした。来年も参加するつもりです。テーマも楽しみにしています。



道須 南人
今回僕はこのキャンプに初めて参加しました。なので、驚いたことがたくさんあります。

まず、皆さんがすごくフレンドリーなことです。これは一番驚きました。知らない人ばかりのキャンプはスタッフだけ明るくて、参加者同士では全く話さない人がいますが、このキャンプは違いました。内気な僕でも皆と話すことができます。明るくて眩しいくらいです。そして他にも、高校生ばかりだったこと、スタッフだと思っていた人がキャンパーだったこと、歌への意欲が凄いこと、肝試しがあったことなどたくさんあります。テーマでも驚きがありました。「CHANGE」は僕にぴったりです。僕にとってチェンジはいろんな人と話せるように変わること、チェンは色々な人とつながることです。何とも似たこの二語は僕のためにあるようなものでした。来年も参加するつもりです。テーマも楽しみにしています。

「スタッフ感想」

大山桃佳

私は中高生キャンプで腹を割って話すことの偉大さを学んだ。「キャンプの友達は何んでも語り合える大切な友達」皆口を揃えてそう言う。日常にはない、自分のことを曝け出して深く語り合うことが、1年でたった4日間でも大切な友達を作るのだ。

小幡千花

スタッフとしての参加は、キャンプ時代よりどこか客観的だったように感じます。特に歌のお姉さんをさせてもらったのは私にとって大きな経験になり、みんなが楽しそうに歌っているのを見るのはなんだか感動的でした。全力で突っ走った4日間最高でした！

種村和亮

毎年、多くの新しいキャンパーとリピート参加が多い中高生世代キャンプ。そこまで愛されているキャンプに携わることができて幸せ。そういう私は3度目にしてスタッフとして参加した。新しい出会いと懐かしい友人のつながりを感じたキャンプだった。

永井智子

今まで2回参加してきたキャン

プに初めてスタッフとして関わりのプログラムを進行する難しさとあのしさを学びました。4日間が過ぎるのは早く感じましたが、非常に濃くテーマやプログラムと向き合った3泊4日でした。ありがとうございました。

新妻夏奈

私は去年まで参加者側にいたので今年が初めてのスタッフ経験でした。準備は想像以上に大変でしたが、その準備があるからこそ、この中高生世代キャンプが成り立っていて、素晴らしいものであるということを実感することができました。たくさんの人に感謝です。

溝井ひかり

スタッフの色々な思いが詰まった中身の濃いキャンプになったと思います。このキャンプで「変わる」「つながる」についてたくさん考えることができたのではないのでしょうか。今年のキャンプに関わる全ての人に感謝します。ありがとうございました。

宮崎真理

今年集ったキャンパー、スタッフとの間にできたつながりは薄れても消えることはなさそうです。

この4日間で感じました。このキャンプ誰にとっても操作不可能なものすごく大きな力による導きがあると思えませんでした。キャンプに関わる全ての支えに感謝。

司祭 中川 英樹

「来て良かった」と言っていたキャンパー達が、今年「来て良かった」と言ってもらえるキャンプをスタッフとして作りあげました。数年前にこのキャンプを始めた人たちの願いがようやく形になり始めています。これからも「来て良かった」と言ってもらえるキャンプがズツと続いていくことを心から願っています



キャンパーが終わり安堵と寂しさと共に帰宅。気絶したように眠り、翌日発熱。今年もキャンパー、スタッフのもの凄い熱量にやられました。

執事 太田 信三



chain + change = CHANGE。テーマであるこの単語を造語したスタッフたちも想像しなかったほどに、2つの単語の深い関係に気付かされた3泊4日。発熱の代償と言っては余りあるほど、chainとchangeについて教えられた日々。CHANGEに必要な膨大なエネルギーを注いでくださった全てに感謝です。

引率 山口恵奈

周りとの関係や自分自身の内面など、様々なchange(変化)が見られるのがキャンプの醍醐味だと実感した4日間でした。このキャンプで出来たchain(つながり)をぜひ大切にしてほしいな、と願っております。



多悠輝(聖マーガレット教会)、道須南人(練馬聖ガブリエル教会)、本幡明子(聖救主教会)、柳澤光輝(立川聖パトリック教会)

【青年スタッフ】
大山桃佳(三光教会)、小幡千花(聖マーガレット教会)、種村和亮(神田キリスト教会)、永井智子(三光教会)、新妻夏奈(聖マーガレット教会)、溝井ひかり(渋谷聖公会聖ミカエル教会)、宮崎真理(立教学院諸聖徒礼拝堂)、村上淳(久我山キリスト教会)

【引率スタッフ】
山口恵奈(立教学院諸聖徒礼拝堂)、太田信三執事(聖アンデレ教会)、渋谷聖公会聖ミカエル教会

【チャレン】
中川英樹司祭(立教学院諸聖徒礼拝堂)

今年度の参加者

【中高生世代】

大山純佳(三光教会)、鍵山響(聖マーガレット教会)、金子英志郎(立教学院諸聖徒礼拝堂)、北久保光宣(聖マーガレット教会)、小嶋元(立教学院諸聖徒礼拝堂)、卓由真(練馬聖ガブリエル教会)、平林瑠子(渋谷聖公会聖ミカエル教会)、穂積香菜(三光教会)、本

感謝

今年度も新たな青年スタッフを迎え、皆様からの支えと神様のお導きにより中高生世代キャンプを行うことができました。今年もキャンプを成功させることができましたのはご協力頂いた教会、聖職や信徒の皆様のご支援によるものです。スタッフ一同より感謝申し上げます。ありがとうございました。